



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 自立活動 】

② 児童生徒の実態

【 意図したところをタップするのが難しい児童 】

③ 使用方法・作り方

- 1 i+Pad タッチャーとビッグスイッチをつなぐ。
- 2 i+Pad タッチャーに付いている導電ゲルを iPad 上の押したいところに貼り付ける。
- 3 ビッグスイッチを押す。



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 自立活動・生活科 】

② 児童生徒の実態

【 体幹の保持が苦手な児童生徒・雑巾がけの動作が苦手な児童生徒 】

③ 使用方法・作り方

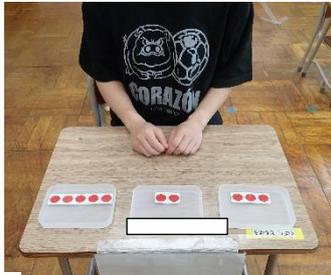
写真のように、箱の上面の手形に合わせて両手を着き、前方に滑らせながら進んでいくようにして使用する。ハイハイや高這い姿勢に不安定さがある児童については、高い箱から取り組ませ、一人で進める距離を少しずつ伸ばしていくようにし、その後、低い箱にも徐々に挑戦していけるようにすると良い。

### 作り方

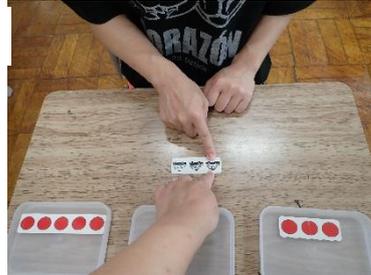
- ① 両手を着くのに十分な面積がある段ボール箱、同じサイズのを必要数準備。(印刷機のトナーの箱のサイズが丁度良い。)
- ② 上から押しでもつぶれないように、段ボール内に段ボールの端切れなどを詰める。
- ③ 上面に手形マークをつけて、完成。



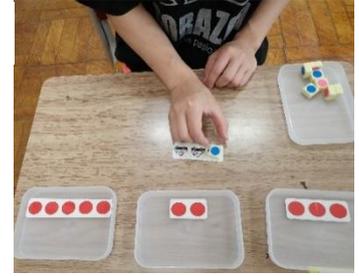
(1)



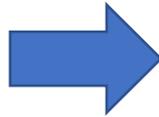
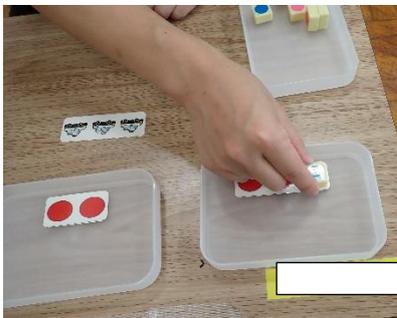
(2)



(3)



(4)



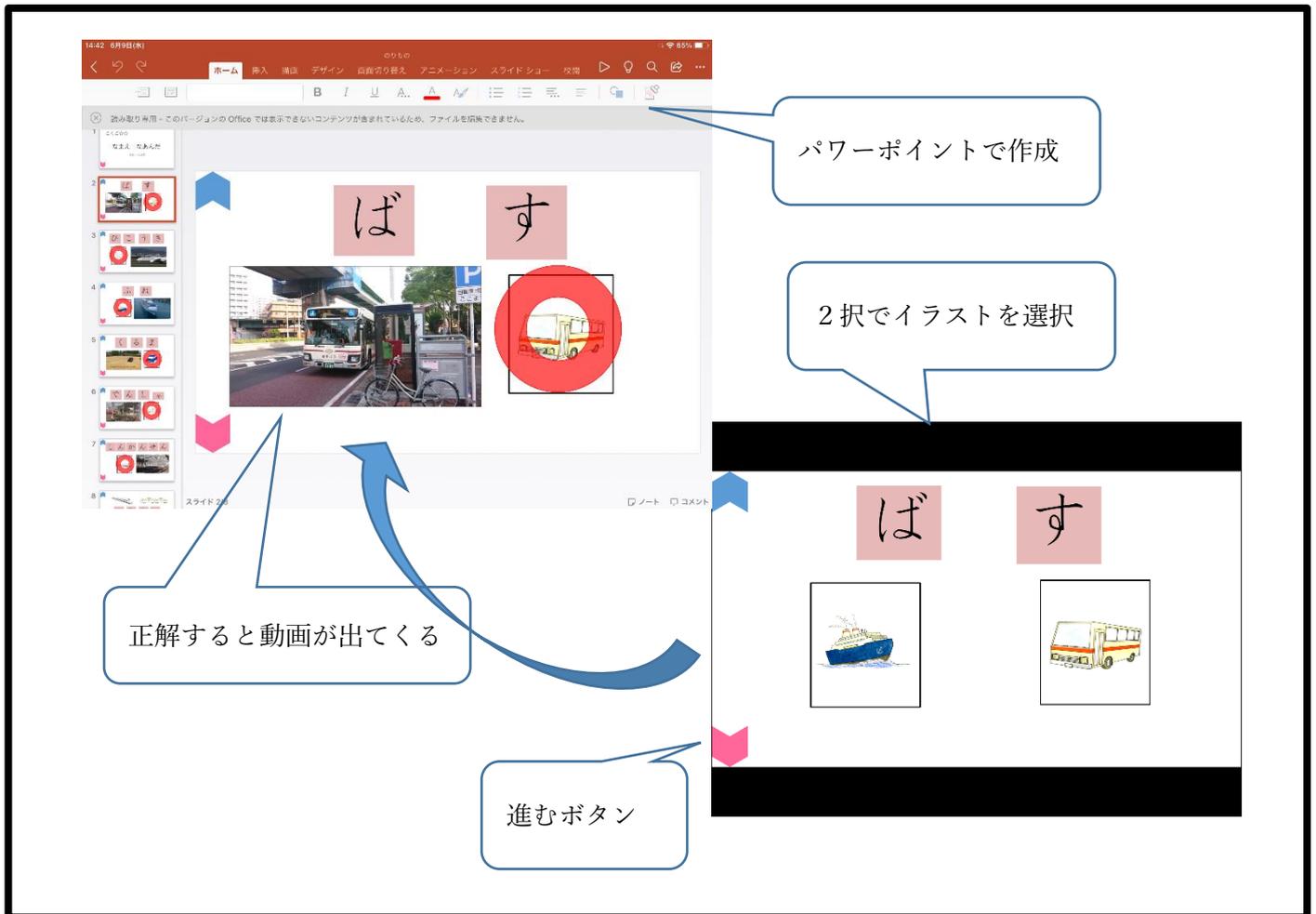
## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 算数(1～5までの数) 】

② 児童生徒の実態 【 1、2、3と数を数えることはできるが、1=〇、2=〇〇、3=〇〇〇というような数量の理解が難しい児童 】

③ 使用方法・作り方

- (1) 赤丸が貼ってある1～5までのプレートの中から、3つほどを机に並べる。
- (2) 絵のシートを児童の前に置き、一緒に数える。
- (3) 数図ブロックを多めに提示し、絵の上にブロックを並べる。
- (4) 「3だったね、どのお皿？」と聞き、お皿に入れるように言葉を掛け、絵の上に並べたブロックを赤丸の上に移動させる。ブロックが余ったり、足りなくなったりすると、別のお皿に移動させ、ブロックがぴったりになるお皿の中に正しく入れられるようにする。シートを変えて(1)～(4)を何枚か取り組んで終了。



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 国語 ☆☆ なまえなあんだ 】

② 児童生徒の実態

【 身近な物の名称を言ったり、文字を読んだりする 】

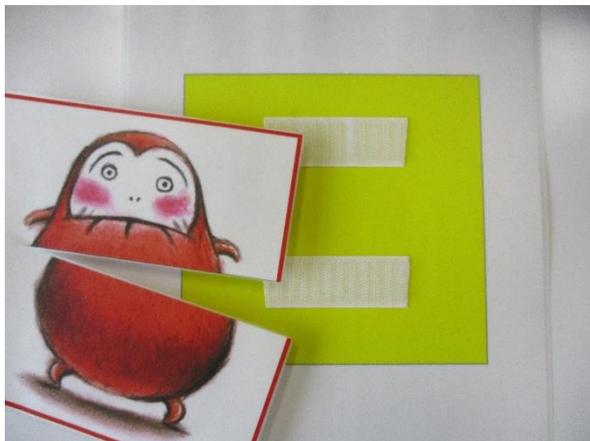
③ 使用方法・作り方

### 【作り方】

- 教科書「なまえなあんだ」のイラストを使用。
- パワーポイントで作成しタブレットに取り込む。

### 【学習の手順】

- ①自分で平仮名を読む。または、指導者が平仮名を読んで聞かせる。
- ②正しいイラストを選択する。(正しいイラストの枠内のみ反応するようになっている)
- ③正解すると、関連する動画を見ることができる。



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 算数（図形） 】

② 児童生徒の実態

【 好きな絵に注目できる。両手動作の練習中 】

③ 使用方法・作り方

2分割されたカードの1つを貼っておく。もう1枚のカードを黄色い枠内に貼り正しく組み合わせて絵を完成させることができるようにする。できるようになったら、2枚のカードを児童が貼り合わせて絵を完成できるようにする。児童が興味のある絵を使用する。



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 国語 書く 】

② 児童生徒の実態

【 始点、終点や文字の形を意識してなぞり書きすることが難しい 】

③ 使用方法・作り方

- ・ 文字に模った発泡スチロールボードをホワイトボードマーカーでなぞり書きをする。(透明なシートを貼ることで何度も消して使える)
- ・ ペン先が発泡スチロールボードから落ちないように書く。



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 算数 】

② 児童生徒の実態

【 ねじ締めトレーニングを行うことで、集中して取り組むことができる 】

③ 使用方法・作り方

大きいボルトを使うことで、握りやすくした。

ボルトのピッチが違うのを理解し、すべてボルトを締めた  
あと、ボルトを外して再び箱に戻す。



## 教材紹介カード

① 教科・領域 【 自立活動 】

② 児童生徒の実態

【 机や椅子を前後にガタガタ揺らして授業に集中することが困難 】

③ 補助具を椅子につけることで椅子を前後に動かすことが難しくなり、授業に集中できる。椅子が斜めになることで体幹を鍛えたり姿勢がよくなったりする。



## 教材紹介カード

③ 教科・領域 【 生活 】

④ 児童生徒の実態

【 買い物をするときにお金を払うことが難しい 】

③ 使用方法・作り方

客役：商品を選んでレジに持っていき、財布からお金を出して商品を購入し、商品を袋に入れ買い物を行う

店員役：レジごっこのアプリを使い、商品をスキャンして合計を出す。お金を受け取ったあと商品を渡す。

レジごっこ：QRコードの値段を生成して、QRコードを商品に貼りつけて、値段を読み取るようにする。